

トピック展示
視覚×革命

異国と出会った江戸絵画

— 神戸市立博物館名品展 —

The Visual Revolution in Edo Painting: Masterworks from Kobe City Museum

2013

7/17 [水]

9/23 [月・祝]

◆開催場所／九州国立博物館4階文化交流展示室(開演第11室)基本展示室
◆開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
◆休館日／月曜日(ただし8月12日(月)、9月16日(月・祝)、9月23日(月・祝)は開館、9月17日(火)は休館
◆主催／九州国立博物館、神戸市立博物館

KYUSHU NATIONAL MUSEUM
九州国立博物館

想像以上の絵画の世界へ。



トピック展示

視覚×革命

江戸絵画

― 神戸市立博物館名品展 ―

The Visual Revolution in Edo Painting Masterworks from Kobe City Museum

江戸時代と聞いて、皆さんは何を連想しますか。ペリー？ちよんまげ？徳川幕府？もしかすると「鎖国」という言葉を思い浮かべた方も少なからずいることでしょう。ところが、この時代には、実は中国やオランダの船が、最先端の知識や珍しい舶来品をのせて毎年のように長崎に来ていたのです。異国の目新しいものは、またたく間に將軍も大名も庶民も魅了し、それまでの伝統的な絵画とは異なる斬新で個性豊かな美術が生み出されました。本展覧会では、世界有数の南蛮・紅毛美術コレクションを誇る神戸市立博物館の所蔵品から、外国の文化を積極的に取り入れた近世美術の名品全五十四件を厳選してご紹介します。



江戸のマルチタレント
平賀源内、唯一の油絵

西洋婦人図 平賀源内筆 前期



洋書のイラストを手本にした昔話

二十四孝童子鑑 歌川国芳画 後期



のぞいてみよう！
レンズの向こうの驚きの世界

浮絵付きのぞきからくり 通期



謎の画家が咲かせた
大輪の花

風牡丹図 鄭培筆 後期



超絶技法の
毛並みは必見

群虎図屏風 大友月湖筆 前期



日本に輸入された
極彩色の鳥たち

来禽図巻(部分) 小原慶山筆 前期



遠くの富士山まで見通せる
ダイナミックな風景

重要文化財 相州鎌倉七里浜図屏風(部分)
司馬江漢筆 後期



仙人たちが
寿老人をお迎え！

群仙星祭図 河村若菜筆 後期



舶来の絵具で描いた
透感ある青い空

花籠と蝶図・花鳥の阿蘭陀風景図
若杉五十八筆 後期



江戸の3D絵画
ここにはじまる

両国橋夕涼見 浮絵根元
奥村政信画 前期





視覚革命
異国と出会った江戸絵画
 一神戸市立博物館名品展一
関連イベント

左より
 群虎図屏風 大友月湖筆 前期
 長春富貴図 梁基筆 前期
 所蔵はすべて神戸市立博物館

記念講演会
奥行きが発見
 18～19世紀の日本の洋風表現
 岡泰正氏(神戸市立博物館 展示企画部長・学芸員)

◆日時◆
 8月4日(日)
 13:30～15:00(開場13:00)

◆場所◆
 九州国立博物館1階研修室

◆聴講料◆
 無料、事前申込は不要です。

ミュージアムトーク・特別編!
舶載蘭書と洋風画
 勝盛典子氏(神戸市立博物館 学芸員)

◆日時◆
 8月20日(火)
 15:00～16:00(開場14:30)

◆場所◆
 九州国立博物館1階研修室および
 文化交流展示室関連第11室

◆聴講料◆
 無料、事前申込は不要です。
 [ただし文化交流展の観覧券を]
 [事前にお買い求めください]

九博研究員による
ミュージアムトーク

◆日時◆
 7月30日(火)
 8月6日(火)
 15:00～15:30

◆場所◆
 文化交流展示室関連第11室

◆聴講料◆
 無料

[ただし文化交流展の]
 [観覧料は必要です]

同時開催

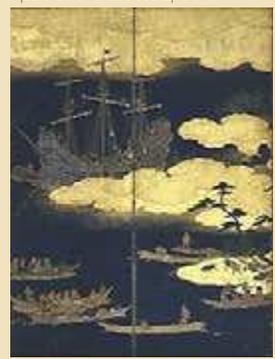
特別公開 国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸
 7月17日[水]～9月29日[日] ◆場所:文化交流展示室 基本展示室



昭和39年(1964)神戸市の六甲山中で14口の銅鐸と7本の武器形青銅器(銅戈)が発見されました。銅鐸には弥生時代の人々の風習がわかる絵画が描かれており、国宝に指定されました。九州ではめったに見ることができない銅鐸の美をご紹介します。

文化交流展示 トピック展示 年間スケジュール

2013. 7	8	9	10	11	12	2014. 1	2	3	4	
視覚革命! 異国と出会った江戸絵画 一神戸市立博物館名品展一 7月17日[水]～9月23日[月・祝]			茶の湯を楽しむVI 煎茶を楽しむ (仮称) [関連第11室] 10月1日[火]～12月1日[日]		アイヌ工芸品展 (仮称) [関連第9・10・11室] 12月10日[火]～2014年2月16日[日]		館蔵近世絵画名品展 [関連第11室] 前期 2014年 2月25日[火]～4月6日[日] 後期 2014年 4月8日[火]～5月18日[日]			
特別公開 国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸 7月17日[水]～9月29日[日]			館蔵染織名品展 更紗 (仮称) [関連第9室] 9月3日[火]～10月14日[月・祝]		山の神々 一九州の霊峰と神祇信仰一 [関連第9室] 10月22日[火]～12月1日[日]		発掘された日本列島2013 [関連第1・2・3・4室](予定) 2014年 1月1日[水・祝]～2月16日[日]			
更紗はインドを起源とした文様染めです。多くの人々を魅了した鮮やかな茜染めといきいきとした文様の美をご覧ください。			九州各地の霊山に伝わる名宝を紹介することによって、山岳信仰の歴史を振り返ります。		全国各地で行われている発掘調査の中から、注目された成果をご紹介します。			当館が誇る、安土桃山時代から江戸時代の多彩な絵師たちによる名品の数々をご堪能ください。 ※前期・後期で大幅な展示替えあり		



唐船・南蛮船図屏風 右隻(部分) 九州国立博物館蔵

◆観覧料/一般420円(210円)、大学生130円(70円)、高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料
 ※()内は20名以上の団体料金です。 ※平成25年7月17日(水)～9月16日(月・祝)は、特別展「中国 王朝の至宝」の半券でもご覧いただけます。 ※障がい者とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。 ※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、展示室入口にて年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。 ※キャンパスメンバーズの方は無料でご覧いただけます。展示室入口にて学生証、教職員証をご提示ください。



交通案内

■公共交通機関
 【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から天神大牟田線(特急約12分/急行約17分)で西鉄二日市駅乗り換え、太宰府線(約5分)で太宰府駅下車、太宰府駅から徒歩約10分
 【JR】JR博多駅から鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約5分)、西鉄二日市駅から太宰府線利用

■車
 【九州自動車道】太宰府1Cまたは筑紫野1Cから高雄交差点経由で約20分
 【福岡都市高速】水城出口から高雄交差点経由で約20分
 【タクシー利用】JR二日市駅から約15分、福岡空港から約30分

九州国立博物館
 太宰府天満宮横

福岡県太宰府市石坂4-7-2 <http://www.kyuhaku.jp>
 NTT/ローダイヤル 050-5542-8600 (午前8時～午後10時)

駐車場(有料)には限りがございます。ご来館の際は公共交通機関をご利用下さい。